

## 取組個票①5年間の取組全体概要

①取組名	取組14	エコフォレストとやま(林地集約化事業)
②対応する目標・課題	農業・森林・林業	
③対応する評価指標・目標値	■評価指標: 林地集約化面積	■目標値: 0ha(H22年度) ⇒500ha(H28年度)
	■評価指標: 森林由来バイオマスの再生可能エネルギーへの利用量	■目標値: 370t(H22年度) ⇒2,000t(H28年度)
④取組内容 林業再生及び山村における雇用を創出するため、森林の資源を活用したビジネスモデルの構築を目指す。 (1) 林地の集約化 森林整備を一層進めるため、森林経営計画策定による林地集約化を推進する。 (2) 森林資源を活用した排出権取引 間伐による温室効果ガスの吸収量や森林バイオマス利用による温室効果ガスの排出削減量などから生じる排出権の販売方法等について検討する。 (3) 代替エネルギーの活用促進 伐採サイクルが短い木材等を原料とした代替エネルギーの検討や間伐材の有効利用など、代替エネルギーの活用促進について検討する。		
⑤エリア 中山間地域		
⑥主体 森林組合、民間等事業者、富山市		
⑦活用した国等の制度 なし		
⑧地域の関与 【予定】・取組に対する富山市の支援等		
⑨スケジュール		
23年度	準備	
24年度	情報収集(排出権取引・代替エネルギー活用促進)、モデル実施(林地集約化)	
25年度	調査検討(排出権取引)、情報収集(代替エネルギー活用促進)、モデル実施(林地集約化)	
26年度	調査検討(代替エネルギー活用促進)、モデル実施(排出権取引、林地集約化)	
27年度	モデル実施(排出権取引・代替エネルギー活用促進、林地集約化)	
28年度	モデル実施(排出権取引・代替エネルギー活用促進、林地集約化)	
29年度以降	実施(排出権取引・代替エネルギー活用促進、林地集約化)	
⑩他の取組との連携 取組名: 呉羽丘陵での「人と自然との共生&再生可能エネルギー」フィールドミュージアム形成 連携内容: 呉羽丘陵での「人と自然との共生&再生可能エネルギー」フィールドミュージアム形成は、エコフォレストとやま(林地集約化事業)と連携することで、市民の森林・自然に対する理解が深まることから連携して取組む。		
⑪自立・自律の方針・目標 ●林地集約化によるコスト削減と再生可能エネルギービジネスによる林業の自立促進 富山市、森林組合、民間等事業者が協力し、林地の集約化による森林施業効率化と再生可能エネルギー活用についての調査検討を行い、林業の自立促進のための仕組みの構築を促す。		